

友松会だより

ホームカミングデー 報告号
平成 27 年 11 月 15 日 発行
発行責任者 芦川 弘

第 10 回 横浜国立大学ホームカミングデー 平成 27 年 10 月 31 日 (土) 10:00 - 16:00 会 場 常盤台キャンパス

第 10 回ホームカミングデーは、横浜国立大学のさらなる発展のために、在校生、卒業生と教職員も含む交流組織として発足した校友会が主体となつての初めての開催となった。大学祭と同日開催としたことで、若者であふれ、卒業生、高校生、地域の家族連れなど外部からの参加者でにぎわった。留学生の姿が増えて国際色豊かな会場は、「グローバル時代における学風の発展と継承」のテーマにふさわしい新時代の到来を感じさせた。

友松会は、参加行事として「第 22 回豊かな教育を語る会」(第一部 研究発表 第二部 パネルディスカッション)を開催した。

▽ メイン講演

「グローバル時代に求められる 日本人の人材像」

講演者の飯島彰己氏は、本学経営学部卒で三井物産株式会社代表取締役会長、日本経済団体連合会副会長として活躍された。グローバル時代と呼ばれる現在の世界をどのようにとらえるべきか。そのなかで、日本人や日本企業はどのように世界と向き合うべきか。これからの日本を築いていく若い世代にとっても、きちんと考えておくべき重要な論点である。これらについて、多彩な事業をグローバルに展開する総合商社、三井物産の経営に長く携わってきたなかで考えてきたことを話された。あわせて、この時代環境の下で、日本と、そして世界と共に成長していける人材像について、日ごろ感じておられることを述べられた。

▽ 第 22 回 豊かな教育を語る会

第一部 研究発表

芦川会長あいさつ

大勢の方に出席いただき、ありがとうございます。校友会が立ち上がりまして、初めての「豊かな教育を語る会」になります。これまでも優秀な先生

方の提案がされました。不易と流行という言葉があります。現場では新しい教育機器を駆使して子どもたちに興味・関心を持つようにしていますが、教師と子どもたちが顔を見合わせ一緒に迫っていく問題解決学習は不易として残っていくものと思います。



挨拶する芦川会長

* 研究 討 議 *

研究発表者 松澤奨励賞受賞者 2 名
協 議 司 会 三浦和弘氏
指 導 講 評 横浜国立大学教育人間科学部
森本信也教授(理科教育)
重松克也教授(社会科教育)

「自ら学び、自ら考え、 互いに高め合う子をめざして」

川崎市立東高津小学校 新田瑞枝教諭 (H13 卒)

「アクティブ・ラーニング」とは、「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」である。子ども一人ひとりが、学習活動に取り組み、問題の解決に向けた学習活動をする中で、自ら学び、ともに学ぶことを期待している。この考え方は、総合的な学習の時間の目標や「探求プロセス」に通ずるものがあり、他教科に生かせるものはないかという視点で、理科という教科を取り上げて考えていきたい。



新田教諭の発表

「自分の考えを持ち、 ともに学び合う子をめざして」

平塚市立神田小学校 中野美紀総括教諭 (H5 卒)

「学び合い」を基本にしつつ、より主体的な学びの充実を図るために、児童の学習意欲を喚起する授業づくりをめざしている。



発表する中野教諭

本研究では環境学習の一環として「総合的な学習の時間」及び歴史教育の一環として社会科を窓口実践を行った。児童の学習課題の選択多様性を保証し、自然や歴史に関する体験活動や調査活動を通して、自分たちの住んでいる地域への理解を深めてほしいと願っている。

第二部 パネルディスカッション

▽ 芦川会長あいさつ

校友会が立ち上がりました。新一年生の学生さんにも同総会に入ってくださいことになりました。保護者会を同窓会に合流し一本化しました。内容的には保護者会の精神を踏襲しております。ご理解願います。パネルディスカッションでは、自分の生き方を見つめ考えるということですが、振り返りますと私自身そこまで考えたかと思っています。OBとしても貴重な機会だと思います。よろしくお願いいたします。

テーマ “私の進路はこうして決めた”

～ 卒業生、在校生の立場から～

コーディネーター

横浜国立大学教育人間科学部長 高木教授



高木教授の挨拶

- パネラー 新人教諭 柴田 寛(H21 卒)
 企業関係 北野企利子(H22 卒)
 学校教育課程 若林 咲(4年)
 人間文化課程 川合 芙美(4年)
 保護者会副会長 尾辻 典子
 司会 小池 弘子 (友松会総務部)



パネラーの皆さん



発言する保護者

※ 第一部、第二部の詳細については、後日「友松」106号、友松会 HP・保護者と学生の頁に掲載されます。

∞ HCD会場の様子 ∞

会場では、グリークラブコンサート、シンポジウムなど、様々なイベントが催されました。学生による大学祭参加の企画や模擬店も多数見られ、卒業生を楽しませてくれました。

交流会は、参加費半額の学生割引もされ、世代を超えた交流となりました。友松会からも、織茂、金子両顧問をはじめ、役員、会員等、数十名が参加されました。

